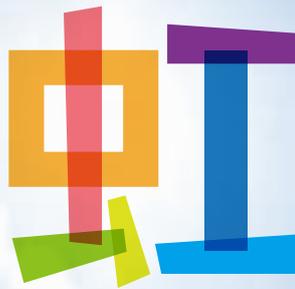


co-op

三重の生協の  
今を伝える

みえの



No.112

2016年8月

三重県生活協同組合連合会

〒514-0009 三重県津市羽所町379  
TEL.059-228-9913 FAX.059-228-9915

## 私たちが安心して、地域の中でくらし続けていけるために

### 三重県生活協同組合連合会

第40回通常総会が6月27日に開催され、2015年度活動まとめと2016年度活動方針、役員選任などすべての議案が可決されました。



▲第40回通常総会

2015年は、被ばく70年にあたり、核兵器廃絶にむけて、NPT再検討会議(ニューヨーク)現地行動への代表派遣や、平和な社会への願いをつなげていく取り組みをおこなってきました。また、私たちを取り巻く情勢やくらしのあり方が変化している中、TPP協定や安全保障関連法、介護保険制度改定に関わる地域の問題など、実情を知り、地域のみなさんとともに考えていく取り組み、そして私たちが健康でくらし続けられるための取り組み等をおこなってきました。

2016年は、引き続き、私たちが地域の中で安心してくらし続けられるために、関係するみなさんと一緒に、くらしのさまざまなことに取り組んでいきます。

平和への願いは、今年も「平和行進」に託して、津市内は6月14日にお城西公園～三重県教育文化会館までの約2kmを145名のご参加のみなさんと一緒に歩きました。

また、地域社会の中で、協同が担う役割への期待が高まっていることをうけて、県内の協同組合が連帯する「三重県協同組合連絡協議会」では、協同の認知を高める取り組みを継続していきます。7月7日に協賛した「三重県総合文化センター/ワンコインコンサート(バンドネオン奏者・三浦一馬さん)」では、県内各地域から1,738名のご来場があり、ひと時を楽しんでいただきました。

今秋以降も、生協・生協連合会では、私たちの身近なくらしの諸課題に関わり、講演会やフォーラムなど、地域のみなさんと一緒にすすめていきます。



2016年ハート平和行進(お城西公園)▶

一人は万人のために

万人は一人のために

生活協同組合  
コープみえ

みえ医療福祉  
生活協同組合

三重県学校  
生活協同組合

三重大学  
生活協同組合

三重短期大学  
生活協同組合

三重県立看護大学  
生活協同組合

# 三重県生活協同組合連合会 ～第40回通常総会開催報告～

日時/2016年6月27日(月) 13:00～14:30  
場所/三重県教育文化会館 第5会議室

第40回通常総会は、代議員24名(実出席20名)、ご来賓9名、オブザーバー4名、書記2名、県連役員9名、事務局1名の計45名参加のもと、開催されました。議案審議にあたっては、各会員生協より、活動報告や会員生協企画への参加よびかけ、連合会への要請等が出され、今後に向けての共有とより一層のつながった活動への期待が高まる総会となりました。

## 【会員生協からの活動報告/2016年度活動へ出された期待】

### 三重県学校生協

生活協同組合は、平和な社会がなにより大事として、活動を継続しています。

しかし、戦後の時間経過とともに継承が薄れ、歴史教育もこれまで以上に大切になってきています。連合会には、平和活動のさらなる前進を期待します。

また、災害に備えて、生協間でともに取り組みをすすめていきたい。

### コープみえ

戦争を知り、平和を考える活動に取り組んでいます。コープでは「まなびのわ」で平和を考える機会づくりをおこない、また、連合会とともに若い層や大学生を対象にした学習会を開催しています。この夏には、津戦跡めぐりを健康ウォーキングや当時の食を知る企画(すいとん作り)を組み合わせる企画します。

### 三重短期大学生協

短大生協は小規模であるがゆえに、教職員・学生が近い関係をつくることができ、ともに成長していくことができます。引き続き、小規模生協ならではの活動をすすめていきたい。

### 三重大学生協

三重大生協は、学生のキャリア支援を充実させ、「まなび」や「就職活動」支援等に取り組んでいます。また、2013年に「ブランドづくり学生委員会」を発足させ、地元生産者とともに商品開発にも取り組んできました。

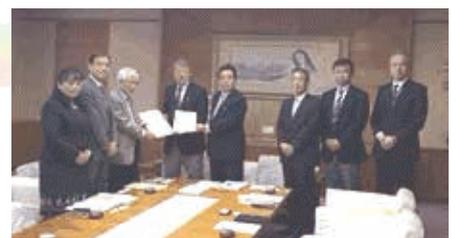
### みえ医療福祉生協

健康づくりの活動として、「保健大学」を開講しています。この7～12月は、高血圧をテーマに開講します。より多くの方々に参加していただきたい。

## 三重県議会(正副議長、各会派のみなさん)と 懇談の機会をいただきました。

三重県生協連合会は、コープみえ・みえ医療福祉生協・三重県学校生協・三重大学生協・三重看護大学生協・三重短期大学生協の6生協が購買・医療・福祉・共済などの事業や、組合員による地域に根差した活動を通じて、県民生活のさまざまな課題に取り組んでいます。生活協同組合に対して、社会的な役割を担う期待が大きく感じられ

る昨今、三重県議会正副議長、各会派のみなさんと三重県政に係る意見交換をこの3～7月にさせていただきました。



▲3月29日 三重県議会/正副議長へ要望書を提出しました。

### 生協連からは、以下を要望しています

- ・県議会で採択された「子ども・一人親家庭・障がい者の医療費窓口無料」実施を三重県行政へ継続して求めてください。
- ・介護保険制度改定に伴う地域支援事業が地域の住民目線で市町に移行できていくように県政として主導してください。
- ・TPP協定に関しては民意を反映した国会議論が行われることを国に要望してください。
- ・県議会で採択されている「非核平和県宣言」に則り、宣言にふさわしい非核・平和の施策に国とともに取り組んでください。
- ・県議会が安全保障関連法について、廃止または再検討を求める意見書を可決したことに引き続き、国へ意見を上げ続けてください。

おしらせ

## 三重大学後期

# 市民開放授業「人文学部 特殊講義 協同組合論」のお知らせ

三重県生協連は、協同組合を学ぶ場づくりをすすめています。

「協同組合」ってなに？現代社会の中で、協同組合に期待されることとは？

三重大学人文学部2～4年生向けに開講される「協同組合論」ですが、一般のみなさんの受講もしていただけます。ご希望の方は、下記まで、ご連絡ください。



三重大学人文学部  
青木雅生准教授

【講座】三重大学人文学部特殊講義「協同組合論」代表講師/青木雅生准教授

【期間】2016年10月6日(木)～2017年2月2日(木)

毎週木曜日 16:20～17:50

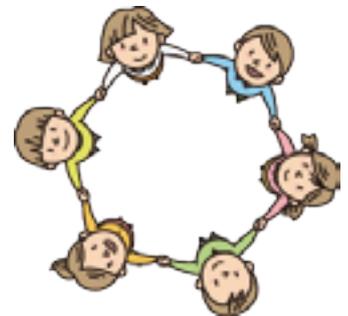
【授業】講義の各回に、県内の協同組合に所属し活動されている方々をお招きして、具体的な取り組み、組織の歴史的な経緯、未来に向けた課題や方向性などをお話していただく予定です。

【申込】一般10名程度。申し込み期間は、9月1日(木)～8日(木)

受講料9,400円。

【お問い合わせ先】三重大学 学務部教務チーム 059-231-6544

※10月13日は石田正昭教授(日本協同組合学会会長)、10月27日は浅田克己会長理事(日本生活協同組合連合会)の講演があります。事前のお申し込みがない場合でも、当日、講義を聴講していただくことができます。



## 支援活動

# 3.11を忘れない

## ～ひとの復興～

## 被災した人たちとともに地域をつくり上げていくボランティア

みやぎ生協から  
被災地・宮城の  
いまをお伝えします。

被災地でのボランティアはいま過渡期にあります。

宮城県内の「災害ボランティアセンター」(各社会福祉協議会)は昨年すべて閉所し、それぞれ復興支援ボランティアセンターに役目を移行しました。NPO等も復興の進展に伴って地元への事業移譲を図ったり、活動の絞り込みや高度化に取り組んだりするなど、地域の実情に合わせながら次の段階へ進もうとしています。

NPO法人ガーネットみやぎは、「小さな復興」をキーワードに、農業者や食品加工業者など小規模事業者へのサポートを続けています。当初は、支援物資のマッチングがサポートの主流でしたが、徐々に販売支援へと軸足を移してきました。理事長の小笠原直美さんは、「皆さん5年間あきらめず新しいことにチャレンジしてきた方ばかり。"地域のために事業を続けよう"という覚悟を持っている。今年はそうした事業者の販売支援に力を注ぎたい」と話します。

小笠原さんが地元の同級生とともにボランティアを始めたのは発災直後の3月

末です。被災地には他県から多くのボランティア団体が訪れていましたが、小笠原さんはその活動に感謝しつつも、「支援はいつか終わる。そのとき被災した人たちはどうするのだろう」と感じていました。そこで「被災者自身による復興」をモットーに掲げ、被災した人たちとともに地域をつくり上げていく活動を目指したので

す。イベントでの商品販売サポートや助成金の紹介、商品開発など、小規模事業者に寄り添う活動を続ける中で、次の課題も見えてきました。震災前から地域が抱えていた人口減少や高齢化の問題が加速したことです。「NPO法人として地域の様々な課題に対応できる組織体制をつくらなければならない」。そう小笠原さんは決意しています。

ボランティアの支えが必要な場面はまだあります。一方で被災した人びとの生活環境は確実に変化しています。地元根付いたボランティアには、地域の課題を視野に入れた上での伴走が求められているのかもしれません。



▲ガーネットみやぎの正会員のうち専門は小笠原さん1人。他のメンバーは本業の合間に活動するという形をとっています。「子育てしながらで大変だけど学ぶことが多いので継続できているんですよ」と笑顔を見せます。



▲食品や雑貨など小規模事業者の商品を案内する「みやぎ復興応援カタログ2016」。  
※ガーネットみやぎが支援する事業者の商品はウェブでも紹介されています。  
ガーネットみやぎオフィシャルオンラインショップ <http://garnet.theshop.jp/>

会員生協  
だより

三重大学生協・三重県立看護大学生協・三重短期大学生協・生活協同組合コープみえ・みえ医療福祉生協・三重県学校生協の各総代会が5～6月に開催され、全議案が可決されています。

三重大学生協では、代議員のほか、オブザーバーも多数の参加があり、総勢約200名の総代会となりました。会の途中では、参加学生のみなさんが生協に関わることや自分たちのくらしのことを話し合い、発表し合っ、今後につなげていくことを確認しあいました。三重大学生協の学生のみなさんは、コープみえなど、他の生協とともに夏休みに「福島親子をお招きして、青空のもとで遊んでいただく保養企画」に三重大学を会場として取り組んでいます。子ども達が大学生と一緒にゲームを楽しんだり、三重自慢の食べものを昼食にいただいたり、毎年、笑顔の絶えない企画になっています。



▲三重大学生協 第63回総代会

2015 年度第6回

2016年4月11日(月) 13:30～15:15  
コープみえ本部3階会議室  
出席理事6名、欠席理事1名、  
出席監事1名、欠席監事1名

協議決定事項

1. 第40回通常総会開催にむけた事前議決事項の件
2. 第40回通常総会 議長委嘱の件
3. 2016年度役員定数と役員選任の件
4. 日本生協連 第66回通常総会 代議員選出の件
5. 消費者被害防止の取り組み/「消費者ネットワーク (三重県消費者団体連絡会 仮称)」のすすめ方について

第7回

2016年5月30日(月) 13:35～15:15  
コープみえ本部3階会議室  
出席理事6名、欠席理事1名、  
出席監事2名

協議決定事項

1. 地域社会づくりの推進:「県連/活動補助」の取り組みについて
2. 熊本・大分地震支援の募金について
3. 第40回通常総会 議案(役員選任議案を含む)決定の件

理事会 だより

2016 年度第1回

2016年6月27日(月) 15:00～15:35  
コープみえ本部3階会議室  
出席理事8名、出席監事2名

協議決定事項

1. 役付理事互選の件(案)
2. 代表理事選定の件(案)

編集後記

熊本・大分地震の被災地に、またも6～7月は雨が降り続けました。現地のみなさんに心からお見舞いを申し上げます。この三重県もいつ甚大な災害が起こるかも知れず、日頃からの準備と心構えが大事と思っています。災害に備えて、会員生協とともに、できる範囲で非常時訓練に取り組んでいきます。

三重県生協連 事務局より



三重県からのお知らせ

食の安心 安全

三二情報



8月は食品衛生月間です。

夏期は食中毒が多発することから、8月を「食品衛生月間」と定め、全国一斉に食品衛生についての普及・啓発活動を展開しています。三重県でもこの月間中に街頭啓発などをおこない、食中毒事故の防止や食品衛生管理の向上に取り組んでいます。

